

公益財団法人 いしかわ結婚・子育て支援財団 中期目標

(実施期間 令和3年度～令和7年度)

令和3年3月 策定

1 団体の設立目的

子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりの一層の推進を図るため、子育て家庭への支援事業等を行い、もって県民福祉の向上に寄与することを目的としています。

2 団体の果たすべき役割

人口の自然減対策の根幹をなす少子化対策として、「いしかわ結婚支援センター」を中心に企業や行政機関と連携し、結婚を希望する若者への実効ある取り組みを推進します。

また、次代を担う子どもたちが、心豊かにたくましく育ち、自立した大人に成長するよう、社会全体で子育てを応援する仕組みを整え、安心して子どもを産み育てていけるよう、地域社会、団体、企業などの協力のもと、子育て支援活動を支援します。

3 事業内容

(1) 未婚化・晩婚化の流れを変えるための取り組みの推進

「いしかわ結婚支援センター」を拠点とし、市町、企業との連携のもと、「縁結び i s t」の活動支援、「いしかわ婚活応援企業」の取組支援、婚活イベントによる出会いの機会の拡充、若者に対する結婚への意識啓発、結婚に係る経済的負担の軽減など、社会全体で結婚を支援する取り組みを推進します。

(2) 社会全体で支え合う子ども・子育て支援の推進

子育て支援情報の提供や、子育て支援人材を養成し活用する事業の充実、育児体験事業等を通じた若い世代の子育て不安の解消、男性の子育て参画に向けた支援に努めるなど、きめ細かな子育て支援の取り組みを推進します。

また、プレミアム・パスポート事業等を推進し、企業が地域における子育て支援に積極的に参加する意識を高めるなど、子育てを地域社会全体で支えるという気運の醸成に努めるほか、地域の多様な子育て支援団体の活動支援や子育て支援団体の協力によるイベント開催、多世代交流の好事例の発信等を通じて、社会全体で支えあう子育て支援の取り組みを推進します。

(3) 子どもの健やかな成長に資する取り組みの推進

いしかわ子ども交流センターで開催する子どもの健全育成・子育て支援事業等を企画運営し、プラネタリウムの利用促進を始めとする子どもの健やかな成長に資する取り組みを推進します。

4 現状と課題

(1) 成婚へ向けての取り組みについて

結婚を希望する男女に出会いの機会を提供するため、平成 17 年度から結婚相談やお見合いの仲介をする「縁結び i s t」の方々に活動していただいております、その数は令和元年度末で 523 人、「縁結び i s t」による累計成婚数は 999 組となっています。

このほか、市町や結婚支援に取り組む企業への支援や新郎新婦等の経済的負担の軽減に向けた「石川しあわせ婚応援パスポート（愛称：婚パス）」の発行などにも取り組んでいます。

「いしかわエンゼルプラン 2020」では、当面の目標である出生率 1.8 の達成に向け、結婚から妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援をさらに充実するとしており、とりわけ、子どもの数を増やす入口ともいえるべき、結婚に対する支援について、県や市町、企業等が連携し、強力で進めていく必要があります。

(2) 社会全体で子育てを支援するための環境づくりに向けての取り組みについて

行政だけでは取り組むことができない子育て家庭の様々なニーズにきめ細かく対応するため、インターネットによる育児情報の提供、子育て支援に携わる人材の養成・派遣、各種広報・啓発事業、男性の子育て参画の促進など様々な事業に取り組んでいます。

平成 18 年度からは、子育て世帯の経済的不安の軽減と社会全体の子育てを支援する気運の醸成を図るため、子どもが 3 人以上いる世帯を対象に、企業のご理解とご協力を得て、「プレミアム・パスポート事業」を開始し、平成 29 年度には、交付対象を子どもが 2 人以上いる世帯に拡大しました。

今後とも、社会全体で子育てを支援する環境づくりに向けて、これまでの取り組みを礎に、さらに工夫を凝らしながら積極的に取り組んでいく必要があります。

(3) 子ども交流センターの利用促進と満足度の向上について

子ども交流センターは、平成 20 年 4 月にプラネタリウムや多目的スペースなどの施設整備をしてリニューアルオープンし、平成 24 年 4 月にはデジタル式プラネタリウムシステムを導入するなど多くの方々にご利用いただいております。

今後とも、子どもたちが学習、体験を通じて楽しむことができる機会の充実を図り、多くの県民にご利用いただけるよう、各学校や関係団体に対して積極的な活用を働きかけていきたいと考えています。

5 中期目標

(1) 中期目標

- ① 結婚支援事業による成婚数(累計)を5年間で750組増加させます。
- ② 社会全体で子育てを支援するための環境づくりに向けての取り組みを推進し、プレミアム・パスポート事業の協賛店舗数を5年間で450店舗増加させます。
- ③ 子ども交流センターの利用者アンケートによる満足度を95%以上に引き上げ維持します。

(2) 測定指標と目標値

※基準値は原則として過去3年平均

測定指標	基準値 (H29~R1平均)	中間目標値 (R5)	最終目標値 (R7)
① 結婚支援事業による成婚数(累計)	単年度純増数 104組	1,600組	1,900組
② プレミアム・パスポート事業協賛店舗数(累計)	単年度純増数 138店舗	3,210店舗	3,390店舗
③ 子ども交流センターの利用者アンケートによる満足度	90%	95%	95%

6 目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 結婚支援事業による成婚数増加に向けた取り組み

- ・ 結婚を希望する若者への支援の輪を広げるため、「縁結びist」の数を増やします。
- ・ 婚活イベントにおける出会いの機会の創出、専用サイトによる成婚までのフォローにより成婚数の増につなげます。
- ・ 「いしかわ縁結び応援隊」や「いしかわ婚活応援企業」等による周知の充実を図ります。
- ・ 若者に早い段階から結婚や子育てを前向きに捉え、自身のライフプランについて考えてもらうため、高校生を対象としたライフプランセミナーの充実を努めます。

(2) 社会全体で子育てを支援するため環境づくりに向けての取り組み

- ・ 財団ホームページ、SNS、情報誌等を活用し、きめ細かな育児情報の提供に努めます。
- ・ 子育て支援に携わる人材の養成や地域の多様な子育て支援人材の活動支援の充実に努めます。

- ・ 男性の子育て参画を更に促進するため、男性に対する子育て講座の開催等を通じた支援や必要な情報の提供等に努めます。
- ・ 地域全体で子育てを支援する気運をより一層高めるため、県民や企業等に対しプレミアム・パスポート事業の更なる周知を図るとともに、協賛店舗(企業)のPR強化など、企業が事業に参画しやすいような事業展開に努めます。

(3) 子ども交流センターの利用者アンケートによる満足度向上に向けた取り組み

- ・ プラネタリウムについて、魅力ある番組制作を行うなど投映番組の充実を図ります。
- ・ イベントや各種企画についても、来館者に満足していただけるよう内容の充実を図ります。
- ・ 利用者により満足していただくため、引き続きアンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努め、サービス向上に努めます。

参考資料(団体の概要)

1 団体の基本的情報

団体名	公益財団法人いしかわ結婚・子育て支援財団
所在地	金沢市鞍月東二丁目1番地
設立年月日	平成8年10月11日(公益財団法人移行:平成25年4月1日)
代表者	理事長(代表理事)細川 悦子
県所管課	少子化対策監室
設立に係る根拠法令等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(法人法) ・ 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(認定法) ・ 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律(整備法)
団体の沿革	<ul style="list-style-type: none"> ・ H 8. 10. 11 財団法人いしかわ子育て支援財団設立 (所在地:金沢市本多町3丁目) ・ H18. 1. 1 プレミアム・パスポート事業を子育てにやさしい企業推進協議会と連携して開始(協議会事務局は当財団) ・ H20. 4. 1 いしかわ子ども交流センターの管理運営を県から受託 ・ H21. 6. 1 金沢市本多町3丁目から鞍月東2丁目1番地へ事務所を移転 ・ H25. 4. 1 公益財団法人に移行 ・ H27. 4. 1 結婚支援推進室を設置 ・ H28. 4. 1 結婚支援センターを設置するとともに名称を公益財団法人いしかわ結婚・子育て支援財団に変更、結婚支援推進室を廃止、 「しあわせのいえ」(クマリフト(株)から寄附受納)の管理運営を開始

2 出資者、出資額等

出資者	出資額(千円)	比率(%)
石川県(出捐金)	32,000千円	100.0%
基本財産(資本金)計	32,000千円	100.0%

3 役職員の状況 (R2.12.1 現在)

(単位:人)

常勤役員	2	常勤職員	54
うち県OB	2	うち県OB	3
うち県派遣	0	うち県派遣	0
非常勤役員	13	非常勤職員	0
役員 計	15	職員 計	54

※役員には、評議員 13 名(全て非常勤)は含まない。

※職員は、県職員(職専免・育休者含む)、県非常勤職員、財団プロパー職員、財団嘱託職員・臨時職員・アルバイト・パートタイム職員となり、全て常勤。